

活動ノート



6月28日(日)

備品整備活動

13:30~15:00

◆参加者: 鎌田、林、川上、橋本、
榭、岩尾 計6名



◆内容: 午前中の活動時間が延長されたため、開始時間が13時30分となりました。活動は倉庫内での道具点検と刃物類をバルコニーへ持ち出してお点検及び鎌砥ぎに分かれて行いました。道具は、万能鋸1本のケースが破損しており、修繕可能か検討が必要です。その他、枝切り鋏1本が歪曲して開いていたので、ネジを締め補修しました。活動は15時に終了しました。

新規購入備品として、片手鋏1本、剪定鋏3丁があり、他に寄贈分でかけや1本が加えられました。

【ふりかえりより】

•初めて備品チェックを経験して使ったことがない道具がまだあ



ることにおどろきました。(橋本)
•ノコギリのヤニ取りやカマ砥ぎが出来て良かった。今後の活動がやりやすくなるだろう。(川上)
•ベテラン揃いの作業で、スムーズな活動が出来た。(岩尾)

7月12日(日)

カブトムシの森整備・植生調査

9:30~15:30



◆参加者: 静間、松雪、国広(信)、
国広(友)、鎌田、榭、岩尾、鈴木、
新地、雪丸、吉田、井上、篠原、
柴戸、中嶋 計15名

◆内容: C地区のササ、イタドリは毎年の草刈りでかなり小型になってきましたが、東屋北側では又スビトハギが目立っており、除伐木の萌芽枝やケヤキ、エノキ、ネムノキなどの実生も目立ちます。これらを、除伐木の萌芽枝とともに刈っていきました。東屋周辺も刈っていったので、随分すっきりしました。

今回刈った草などは主に中央のヤードに集め、遊歩道の清掃もしたので、夏休みの子供達を受け入れる準備ができました。14時15分くらいで引き上げて、センターで整理体操、道具整備、振り返りをして15時半に解散しました。



この時期としては気温もそれほど高くなく、風も適度に吹いていたので作業には良いコンディションでした。ケガや熱中症、ハチなどによる虫刺されもなく安全にプログラムを終了できました。

一方、草刈り作業と並行して、午前中に、A地区の調査地で本年度2回目の下層の植生調査を行いました。10m×10mの調査プロットの中で、花、蕾、果実の見られた植物を記録しました。スミシなどが見られた前回と比較し、見られた植物は少なくなりました。おそらく春の花と秋の花の間の時期で、あまり見られなかったのではないかと思います。次年度以降は、時期について検討したいと思います。

【ふりかえりより】

- 久しぶりの一日参加でとてもつかれましたが、皆さん集中して作業されていて、とてもキレイになりました。(新地)
- 今まで知らなかった種類を確認できたので良かった。図鑑も活用できた。(中嶋)
- カマが良く切れて作業がし易かったです。道具整備は大切ですね。(国広信)
- 今日は何も考えず草を刈り続け

ました。そしたら、とてもきれいになっていたの、やってよかったです。(吉田)

7月25日(土) 18:00~
7月26日(日) 11:00
昆虫調査

◆参加者: 鎌田、富永、静岡、新牛込家(4名)、雪丸、吉田、井上 計10名

ゲスト: 小藤先生

◆内容: 今回の参加者は昨年に比べて半分の数でしたが、高校生会員が盛り上げてくれました。バーベキューは各自食材持参しましたが、皆さん昨年の持込が多かったことを受け、適度な量で予定時間内に終了。その後は夜の昆虫観察をしながらカブ森へ向かい、休憩所(観察小屋)でライトトラップ。20:30~22:00の約1時間半で約15種類の昆虫を撮影&同定できました。直前の天候に恵まれ、昨年よりも多くの昆虫が飛来し、その中には時期外れのゲンジボタルもいました。また、一般宿泊者が3組ほど見学に訪れましたので、カブ森や森会の紹介と簡単なライトトラップの説明をおこないました。

深夜は小藤先生といつもの昆虫班3名でトラップの見張り番をしつつ朝の同定作業のために



目立った昆虫を30種類ほど集めました。今年はカブトムシ3匹でした。

2日目は朝5時30分から早朝の同定作業をした後朝食でうどんをすすりました。その後は台風接近もあり、トラップ回収とルート観察を足早に済ませ、センターに戻って、同定作業に取り掛かり、予定より1時間早い11時に解散となりました。

【ふりかえりより】

- 二日間にわたっての油山活動でしたが、いろいろな昆虫を見て楽しかった(井上)
- 天候に恵まれ、虫もたくさん出てくれて楽しい活動日となりました(鎌田)
- 今年もカブトムシ、クワガタムシが順当に見られて良かった(静岡)

8月9日(日)

昆虫調査

9:30~15:00

◆参加者: 鎌田、新牛込家(4名) 合計5名 ゲスト: 紙谷先生

◆内容: 今回は森会5名と紙谷先生、小川さんの小所帯となりました。まずは休憩所前にテントの用意をすませてから観察センターへ戻り、一般参加者4組を迎えて森会の説明と昆虫の探し方(紙谷先生)を紹介しました。その後、カブ森へ向かう道中の何か所かで、紙谷先生に昆虫の説明や捕獲の実演などをしていただきました



た。その際、一般参加者が偶然にもミヤマクワガタを見つけるといううれしい出来事もありました。

カブ森到着後はトラップを説明しながら一緒に回収を行いました。A地区のトラップにカブトムシが6匹も入っており、思わず歓声があがりました。楽しい時間を過ごし、休憩所には12時頃に到着。ここで一般参加者は解散。私たちがランチタイムとしました。

午後からはトラップの昆虫の同定をしつつ、観察会参加を希望される一般来園者の方たちとカブ森へ昆虫採集に行き、14:15頃までで私と鎌田さんと合計3組を案内しました。皆さん希望されていたカブトムシを採集することはできなかったものの、色々な昆虫が採集でき、とても喜んでいただきました。

今回はこれといって新しい種類の昆虫の発見はありませんでしたが、たくさんの昆虫が見つかり、カブ森について一般参加者へアピールできたのではないのでしょうか。また、紙谷先生のお話も楽しくあつという間に予定時間を過ぎてしまっていました。全員けがもなく、楽しく活動ができました。

【ふりかえりより】

- カナブンがたくさん採れてよかった(新牛込清成)
- かなり山道を歩き回ったので運

動不足解消できたようです(新牛込誠)

8月23日(日)
活動説明会(木工教室)
9:30~15:30

◆参加者: 鎌田、松雪、岩尾、新地、橋本、神田、雪丸、吉田、井上、今林 計10名



◆内容: 9:15に集合し、ミーティングを行いました。そして、10:00から挨拶、森会紹介を行い、アイスブレイク(はじめまして)を行いました。その後、カブ森へ移動し、散策を行いました。

11:30からは4班に班分けをし、道具の使い方説明を行いました。

昼食の後、12:45から作業を開始し、1班、2班はパズル、3班、4班はバードコールから始めました。パズルは①土俵で丸太切り、②お絵かき、③割る
バードコールは、大小2個 ①穴あけ、②ネジ込、③持ち手、胴切り離しの手順で行いました。
14:30に作業を終了し、森会の募集、集合写真の撮影を行い、解散しました。

【ふりかえりより】



・初めての参加でしたが和気あいあいとした雰囲気でもた来ようという気持ちになりました。(神田)

・来年は伐倒などのデモを入れたらよりわかりやすいのではと思います。(松雪)

・初めての参加でしたがいい雰囲気を楽しめました。こんな企画があったのにびっくりしました。(橋本)

8月30日(日)
甲虫調査勉強会
9:30~15:00

◆参加者: 鎌田、松雪、静間、新牛込家(4名)、松尾、新地、雪丸、吉田、今林、知念、村山、井上、計15名 ゲスト: 神田先生



◆内容: 今回は勉強会の一環として、昆虫調査の勉強会を行いました。

午前中はレクチャールームで昆虫の産卵場所や食餌について資料使って説明を行い、その後は全員で今後カブ森にどんな樹木や草花を増やしていくとより多くの昆虫があつまるとなるかを考えました。今回上がった植物には、サクラ・ネズミモチ・ソ



ヨゴ・ヌルデ・イヌビワ・クワ・エノキ・カラスザンショウ・キノコ・ノリウツギ・ハンノキ・アカマツ・スミシがありました。

その後は昆虫の同定方法について資料を使って説明を行い、クイズ形式で昆虫の名前当てなどを行いました。

11:30からカブ森へ向け出発し途中でさまざまな植物を見ながら昆虫を探しました。

昼食後はカブ森内で昆虫のいる場所の説明や採集・同定の練習をしながらセンターへ戻りました。昆虫採集では28種類の昆虫を採集&同定できました。全員けがもなく、楽しく活動ができました。

【ふりかえりより】

・久しぶりに昆虫採集ができて楽しかったです(今林)
・チョウやカミキリムシといった細かい特徴で種類が分かっていることを知りました(松尾)
・昆虫の同定がこんなに難しいとは思ってもみませんでした。まだまだ勉強が足りません(新地)
・楽しい昆虫採集でした。カブ森にもっと多くの昆虫を!(鎌田)

